

大久野通信 vol.10

里山への道のり（発展編）



いよいよ夏本番です。大久野倶楽部の活動拠点は、既に雑草たちとの格闘が始まっています。思えば極寒の時期に、里山の風景を残したい一心で汗をかきました。果たして、その成果は如何に。

INDEX

- ・ あっという間の出来事
- ・ 新設の畑では
- ・ 灼熱への備え
- ・ 今後の展望

あっという間の出来事

放置した場所は、雑草の樂園と化しています。草刈り機で表面を誤魔化しても、蔓延った根があるので2週間後には元通り、何ともやるせない気持ちになります。そこで、部分的ではありますが根からの掘り起こしを敢行しました。雑草抑制の効果を調査する目的で、試験的に竹炭と竹粉も撒いてみました。また、別の場所では野焼きを行ってみました。果たして、如何なる方法が雑草抑制に効果的なのでしょうか。



整備前



雑草を根から取り除き、竹粉・竹炭で覆いました



整備前



火炎バーナーで野焼きを行ってみました

新設の畑では

地元の方々からは、未利用となっている畑地の使用をお願いされます。行政からの指導が背景にある様です。耕作放棄地の再生も、スマートビレッジ構想の大きな柱です。一旦放置された畑は、肥沃であることも有り雑草のパラダイス。こちらでも蔓延る根から取り除き、獣対策の柵を施工しました。現在は、紅はるかとスイカとメロンを栽培しています。



整備前



雑草を根から取り除きました



整地して獣対策の柵を設置



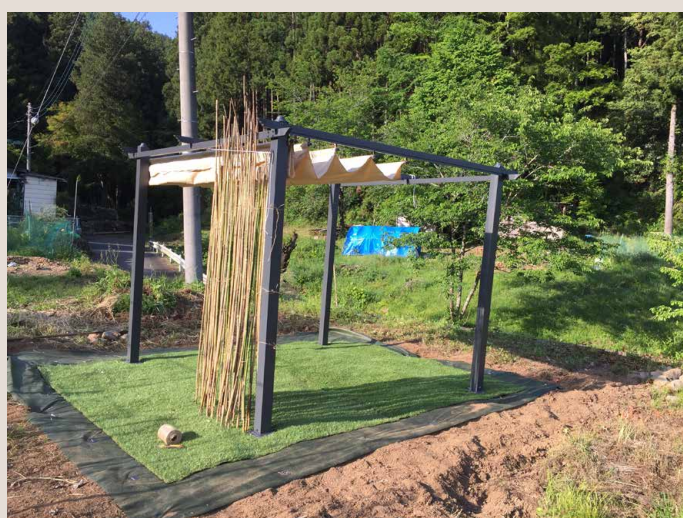
柵の上部には鹿避けのロープを張っています

灼熱への備え

昨年は、猛暑下での畑仕事で初めて熱中症を経験しました。日差しを避ける場所が一切無かったのが敗因でした。今年は日陰となるオーニングを新設、ご近所から頂いた古い葺簷で、側面からの日差しも避けられるようにしました。天候や時間帯を選んでは作業が滞るのが週末農家の悲しいところ。流行りのクールウェアを着込み、経口補水液で喉の渇きを潤しながら、猛暑での里山保全活動に挑む覚悟です。



日よけ設置予定地



完成した日よけ

今後の展望

除草の頻度を減らしたい思いで、蔓延る根まで取り除き竹炭や竹粉を撒きましたが、残念ながら雑草は生えてきました。野焼した場所にも、新たな芽吹きが始まっています。ただし、作業回数削減には多少の効果があったと感じます。除草剤使用やコンクリート施工は有効かも知れませんが、里山の風情を重視する趣旨から外れます。ある程度汗はかきなさいということでしょう。

間もなく夏本番。暑さが収まるまでの数か月間は、雑草管理が大久野倶楽部の重要な活動メニューになりそうです。